



JASDAQ

平成 28 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名：株式会社夢テクノロジー
(コード：2458 JASDAQ)
代表者名：代表取締役社長 本山 佐一郎
問合せ先：取締役副社長 金子 壮太郎
(TEL：03-3210-1230)

日本サード・パーティ株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 9 月 28 日、技術サービスのアウトソーシング事業や IT 教育事業等を運営する日本サード・パーティ株式会社（以下、「日本サード・パーティ」といいます。）との間で資本業務提携契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、あわせて当社親会社であります株式会社夢真ホールディングス（以下、「夢真 HD」といいます。）と当社関連会社であります株式会社夢エデュケーション（以下、「夢エデュケーション」といいます。）も、平成 28 年 9 月 28 日、日本サード・パーティとの間で資本業務提携契約を締結いたしました。こちらに関しては夢真 HD より平成 28 年 9 月 28 日に開示されましたリリースをご参照ください。

1. 資本業務提携の目的

当社は、その時々に応じた産業の趨勢や時流を読み、それに適合した人材の効率的な育成及び派遣を標榜し、従来から IT 関連分野の成長を見越し、プログラマーやシステムエンジニアといった IT 関連の技術者派遣を積極的に行ってまいりました。さらなる成長のため、平成 28 年 5 月 9 日に発表させて頂きました通り、今後、大きく成長が見込まれる先端的 IT 技術（ビットコイン、クラウドファンディングおよびブロックチェーンなどに代表されるフィンテック技術、また、拡張現実（AR）、バーチャルリアリティ（VR）、Internet of Things（IoT）など）の業界へ、新たに本格的に参入してまいります。また、この新規参入のひとつとして、当社は夢真 HD と協力し、IT エンジニアの人材育成を主な業務とした夢エデュケーションを設立いたしました。

今回業務提携を行う日本サード・パーティは、昭和 62 年 10 月に、日本に進出する海外のテクノロジー企業向けに、テクニカルサービス、ヘルプデスク、トレーニングなどの技術サービスのアウトソーシングを提供する会社として設立されました。その後アウトソーシングに留まらず、IT 教育事業を行っており、東京と大阪に日本最大級の IT トレーニングセンターを設置しています。企業や組織で IT に携わるエンジニアの育成と成長のサポートを目的としたトレーニングコースを提供しており、OS やミドルウェア、ソフトウェア、ネットワークなど従来の IT トレーニングの分野だけでなく、業務アプリケーションやオープンソース、さらに巨大で複雑なデータ集合の集積物を扱い業務の付加価値向上を行う「ビッグデータ」、インターネットなどのネットワークを通じてサービスの形で必要に応じて利用する「クラウドコンピューティング」、ロボットの設計・製作及び運転技術を活用した次世代技術「ロボティクス」など、今、必要とされる最新のテクノロジー分野を幅広く取り扱っており、IT エンジニアの時代に合わせたスキルの向上を、継続的にサポートしています。

また日本サード・パーティは、昨今の IT 業界における技術革新や市場ニーズの変化に対応するため、従来のハードウェア製品主体の保守事業から、「クラウドコンピューティング」「ビッグデータ」「ロボティクス」を中心としたエンドユーザ主体のソフトウェアサービス事業の転換

を進めております。さらに、「クラウドコンピューティング」では、関連分野の拡大に向け、MM総研による平成27年のIaaS/PaaS分野における調査で国内トップシェアを誇るAmazon.comにより提供されているクラウドコンピューティングサービスAWS (Amazon Web Services) の認定技術者を育成するための教育投資を実施し、平成28年3月末現在で63名が認定資格を取得したとのことです。「ビッグデータ」では、今後大きな成長が見込まれるビッグデータ、モバイル、ソーシャル及びクラウドなどの技術領域を実現する第3プラットフォーム分野に強みを持つPivotal (ピボタル) 社の製品利用者向けのトレーニングを昨年8月より提供を開始し、「ロボティクス」では、昨年より取り扱いを開始した人型ロボット「NAO」のレンタルや販売のみならず、「NAO」を活用した「トレーニングカリキュラム開発」など付帯サービスの開発・販売に注力しております。

当社としては、ブロックチェーン技術は、金融業界のみならずITインフラを使う全ての業種・業界に利活用ができる革新的な技術であり、今後国内外での利用が急速に拡大するものと見込んでおります。また、既存のIT技術やソフトウェアやデータをインターネット経由で利用するクラウドコンピューティング技術やビッグデータ、ロボティクスといった次世代技術領域もさらに需要が高まるものと見込んでおり、それら技術の発展に伴い、さらなるエンジニア派遣の機会創出が可能であり、派遣事業拡大の好機であると捉えております。また、IT人材の不足に備え、IT教育を早くから手掛けることは重要であると認識しております。

当社は、平成28年5月下旬、夢エデュケーションを設立し、パートナー戦略として日本サード・パーティの代表取締役会長である長谷川将を顧問として招聘し、教育事業のアドバイスを受けておりました。長谷川氏の後援が有益であることに加え、日本サード・パーティは当社の教育事業領域以外にも、ブロックチェーンをはじめとした新規事業領域においてシナジーが多数見込まれたため、本資本業務提携により次世代技術における総合的なエンジニアの育成及び派遣をおこなってまいります。

2. 資本業務提携の内容

当社グループと日本サード・パーティの業務提携の内容は、以下のとおりであります。

- ① IT/テクノロジー分野における開発エンジニア等の人的リソースの相互共有
- ② IT/テクノロジー分野における新規案件の共同開発
- ③ 教育事業におけるノウハウの共有を目的とした社員の相互受け入れ
- ④ 夢真グループが展開するIT教育事業のカリキュラム開発及び販促活動
- ⑤ VR/AR、ブロックチェーン、ロボティクス、AI等の新規事業領域における共同コンテンツ開発

3. 資本業務提携先の概要

① 名 称	日本サード・パーティ株式会社
② 所 在 地	東京都品川区北品川四丁目7番35号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森 豊
④ 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTソリューション事業 ・西日本ソリューション事業 ・ライフサイエンスサービス事業 ・その他事業
⑤ 資 本 金	795,475千円 (平成28年3月31日現在)
⑥ 設 立 年 月 日	1987年10月31日

⑦ 大株主及び持株比率 (平成28年3月31日現在)	日本サード・パーティ(株)	13.79%
	森 洋子	10.90%
	森 豊	7.53%
	森 亮	7.47%
	寺山 薫	7.43%
	日本マスタートラスト信託銀行(株)	3.78%
	(株)三菱東京UFJ銀行	2.39%
	JTP従業員持株会	2.29%
	佐伯 康雄	1.34%
柿沼 佑一	1.32%	

⑧ 当社と対象者の関係

資 本 関 係	当社と対象者との間には、記載すべき資本関係はありません。
人 的 関 係	当社と対象者との間には、記載すべき人的関係はありません。
取 引 関 係	当社と対象者との間には、記載すべき取引関係はありません。
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	対象者は、当社の関連当事者には該当しません。

⑨ 最近3年間の経営成績及び財政状態 (千円)

決算期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
連 結 純 資 産	1,733,304	1,776,578	1,757,944
連 結 総 資 産	2,807,175	2,912,239	2,851,452
1 株 当 たり 連 結 純 資 産 (円)	334.26	342.60	339.01
連 結 売 上 高	4,708,398	4,661,694	4,743,192
連 結 営 業 利 益	81,365	177,387	237,456
連 結 経 常 利 益	89,678	191,760	234,882
親会社株主に帰属する当期 純 利 益	14,918	90,679	81,154
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益 (円)	334.26	17.48	15.65
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	—	—	—

(注)「大株主及び持株比率(平成28年3月31日)」における持株比率の記載は、対象者の発行済株式総数に対する所有株式数の割合(小数点以下第三位を四捨五入)を記載しております。

4. 日程

契約締結日	平成28年9月28日
提携開始日	平成28年9月28日

5. 今後の見通し

平成28年9月期における当社の業績に与える影響は現時点では軽微であると考えておりますが、今後の事業展開により、当社業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。